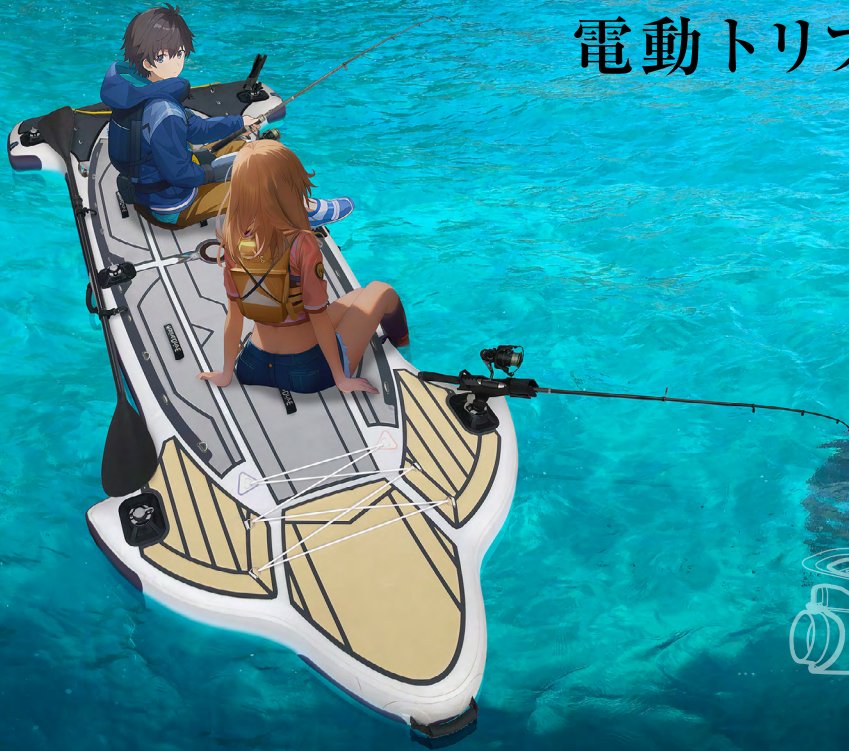




# 電動トリプルジェットボード 取扱説明書



## 安全上の注意

- ・本製品はレジャー用途で製作されています。使用できる環境、用途は限られています。
- ・高波、強風、急潮、急流、視界不良といった悪条件下では、使用しないでください。
- ・モーターを水中で使用する前提で設計しています。水中ではない環境でモーターを使用しないでください。
- ・ライフジャケットの着用など、安全な利用を心がけてください。
- ・使用する水域の法律やルールを守って利用してください。
- ・水深が十分ある場所でご使用ください。水深が浅い場合、電動ジェットフィンの破損リスクが高まります。電動ジェットフィンが浮いた状態でご使用ください。
- ・海上の岩礁には近づかないでください。突発的な波や複雑な流れが発生して危険です。
- ・他の船舶とは距離をとって使用してください。
- ・飲酒や投棄後は、本製品を使用しないでください。
- ・子供が使用する場合は、保護者などの監督者と共に使用してください。
- ・監督者がいない状態の子供が、本製品の清掃、メンテナンスを行うことはできません。
- ・本製品を個人で改造することは避けてください。アフターサービスの対象外となる場合がございます。
- ・本製品はリチウムイオン電池を使用しています。バッテリーの使用上の注意をご確認の上、適切にご使用ください。
- ・バッテリーの廃棄については、地域のルールに準拠してください。
- ・使用前に各機器がしっかり接続されていることを確認してください。
  - ・バッテリーとジェットフィン間のコネクタがしっかり接続されていることを確認ください。コネクタの締めが甘い等の場合、故障の原因となります。
  - ・バッテリーと電動ジェットフィンがボードにしっかり固定されていることを確認ください。
- ・充電には専用の充電チャージャーをご利用ください。
- ・バッテリーに電源ケーブル、ジェットケーブルを装着する/取り外す時は、必ずマグネットキーを外した状態で行ってください。

# 目次

主要な構成と各部名称

梱包内容一覧

準備編：6ステップ

準備編：詳細な手順を解説

電動ジェットの起動

充電

リモコン操作

片付け編

バッテリーの使用上の注意

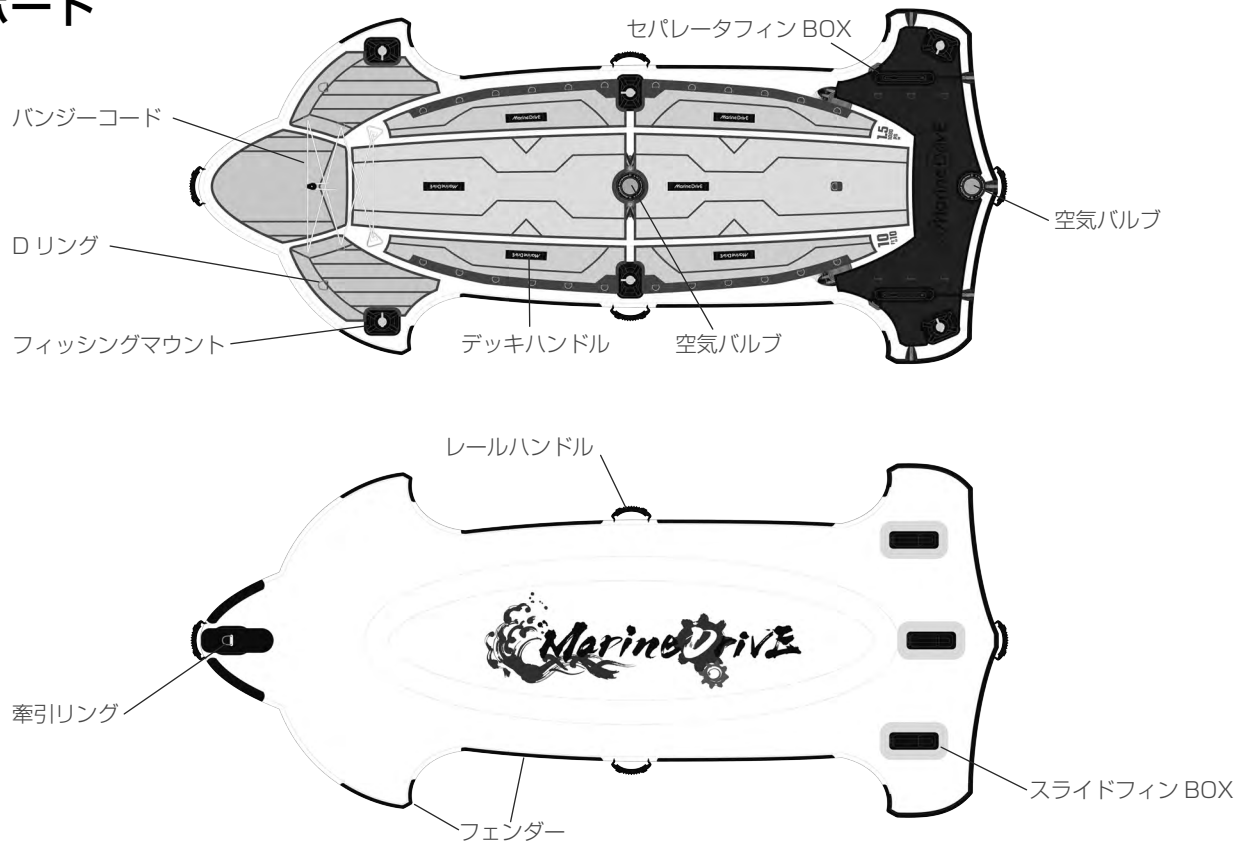
ボードの使用上の注意

トラブルシューティング

アフターサービス

# 主要な構成と各部名称

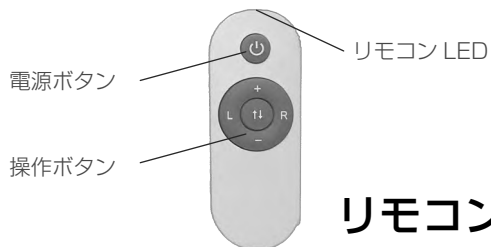
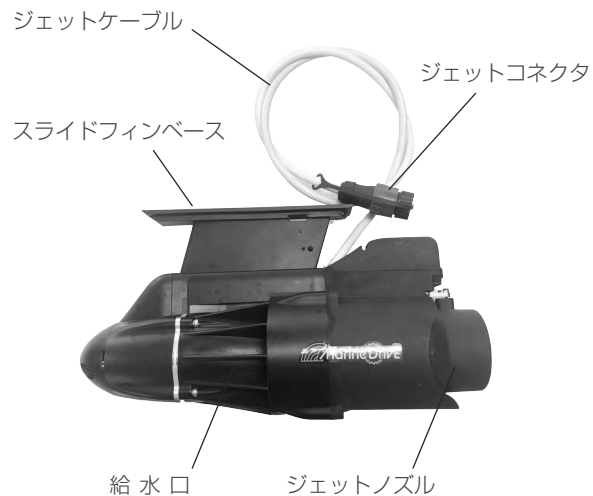
## ボード



## バッテリー



## ジェット



## リモコン

# 梱包内容

- ①インフレーターボード
- ②電動ジェットフィン (360W) . . . . x 3
- ③ジェットケース . . . . x 3
- ④リチウムイオンバッテリー (1280Wh)
- ⑤防水リモコンケース
- ⑥リモコン . . . . x 2
- ⑦2way パドル
- ⑧エアポンプ
- ⑨充電チャージャー
- ⑩ロッドホルダー . . . . x 2
- ⑪キャリーバッグ
- ⑫リーシュ
- ⑬バンジーコード . . . . x 4
- ⑭修復キット
- ⑮マグネットキー . . . . x 2
- ⑯パドルフック . . . . x 2
- ⑰後付フィン . . . . x 2
- ⑱セパレータフィン . . . . x 2



## 準備編：6ステップ

1



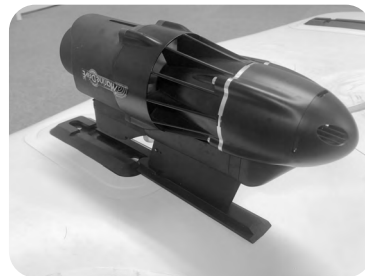
リモコンにボタン電池を装着

2



ボードに空気を入れる

3



ボードに電動ジェットフィンを装着

4



バッテリーに電動ジェットフィンのケーブルを接続

5



ボードにバッテリーを固定

6



セパレートフィンを装着

# 1 リモコンにボタン電池を装着



ツメを内側へ抑えてから、スライドして電池ケースを取り出す



ボタン電池 (CR2032) をセットする



電池ケースをスライドする



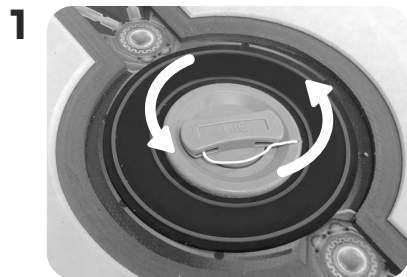
リモコンを防水ケースに入れる

## ⚠ 注意 ⚠

ボタン電池は信頼性の高いメーカー製を使用ください。  
ボタン電池は自然放電等で性能が劣化しやすいため、ノーブランド品の場合、新品であっても正常に動作しないケースがあります。



## 2 ボードに空気を入れる



反時計回りに回してバルブキャップを外す



バルブの中央ピンを回して、ピンを上位置にします

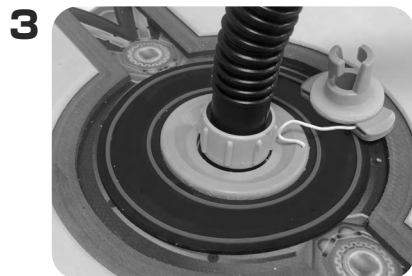
中央ピンを押して回すと、ピンの位置を切り替えられます



**上位置**  
空気を入れるときの位置



**下位置**  
空気を抜くときの位置



エアポンプのホースをバルブに接続します。  
(ホースを回して固定します)



エアポンプで空気を入れます  
推奨空気圧 6psi～、最大空気圧 8psi です  
エアバルブは2箇所あります (2気室)。外側→中央→外側→中央と交互に空気を入れ、6～8psi になるようにしてください。

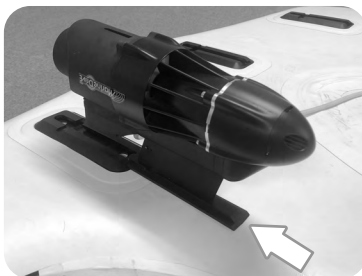
### 3 ボードに電動ジェットフィンを装着

1



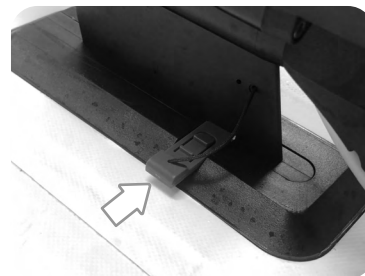
ボードを裏返す  
フィンボックスに砂が入っている場合は、ハケ等で取り除く事をおすすめします

2



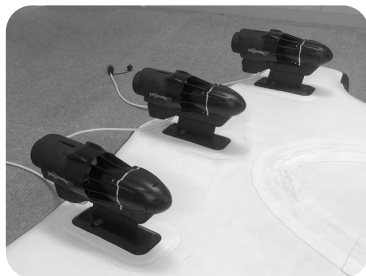
電動ジェットフィンをスライド  
します

3



フィンロックでフィンを固定し  
ます

4



3つの電動ジェットフィンを装  
着します

## 4 バッテリーに電動ジェットフィンのケーブルを接続



ボードを裏返す  
電動ジェットフィンに負荷を  
かけないように、ボードをそっと  
下ろしてください



バッテリーにケーブルを接続  
接続端子の形に合わせて、黒の  
コネクタを差して押し込む



外側の青い円のツメの位置を  
バッテリーのコネクタに合わせて、さらに青い円を押し込む  
時計回りに青い円を回して固定  
する



3つのコネクタを接続します

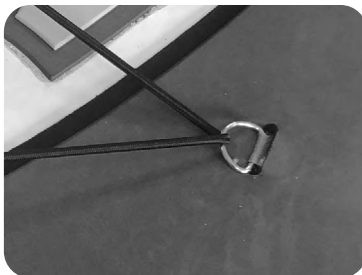
## 5 ボードにバッテリーを固定

1



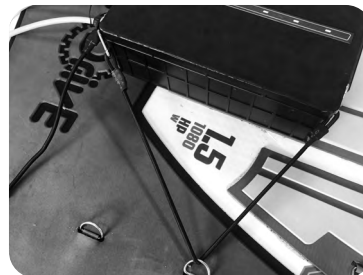
バンジーコードの片側フックをバッテリーに装着

2



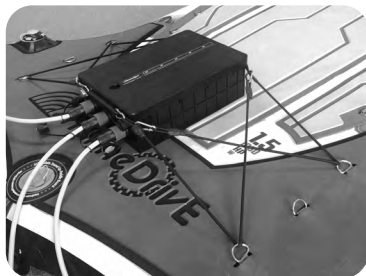
バンジーコードをDリングに通す。

3



バンジーコードのもう片方のフックをDリングかバッテリーにかける

4



4本のバンジーコードでバッテリーをボードに固定する

## 6 セパレータフィンを装着

1



セパレータフィンをセパレータ  
BOX に装着します

2



ネジを回して固定します  
※ネジを使用しなくても、問題なく  
機能する場合は、ネジは不要です。

# 電動ジェットの起動



## 起動前確認

起動前にバッテリーのコネクタが正常に差し込まれていることを確認します

- ・ジェットケーブルは3つ接続されているか？
- ・ジェットコネクタは閉まっているか？
- ・充電コネクタのキャップは閉まっているか？



マグネットキーで起動

マグネットキーでバッテリー電源を ON にする  
ジェットから起動音が鳴ります



リモコンの電源ボタンを長押しでリモコンを ON  
電源ボタンを離れたあと、リモコンの赤ランプが点滅していたら、起動しています



リモコンを操作するとジェットが動きます

## リーシュコードの装着



リモコン操縦者はリーシュコードを使って、体とボードを繋いでください。落水時に、ボードが流されないようにして安全性を高めます。

## リーシュコードとマグネットキー



もし、電動走行中に立つ等、電動走行時に落水リスクの高い乗り方をされる可能性がある場合は、リーシュコードとマグネットキーをつなぐ事を推奨します。落水時に電源が切れるようにするためです。

# 充電

1



バッテリーと充電チャージャーを接続します

2



充電チャージャーを電源コンセントに接続します

3



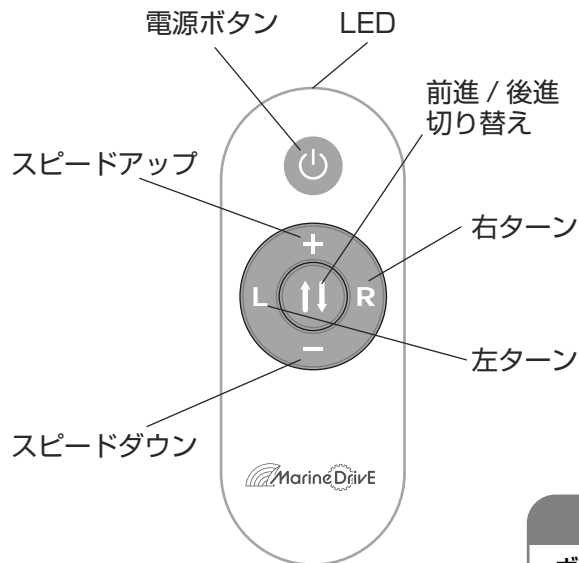
充電率が満充電に近くなると、ランプが点滅するようになります（点滅状態での充電は時間がかかります。バッテリーの持ちを良くするため高い充電率時に充電速度を遅くしています）

4



ランプが消灯したら、充電完了です

# リモコン操作



## 電源ボタン

長押しで ON/OFF

ON 状態では LED が赤く点滅します

## スピードアップ / ダウン

スピードは4段階に変化します

前進時の推奨巡航速度は 4km/h 程度です

4km/h は 1 人乗りの場合、2 段階目のスピードです

前進時の最大速度は約 8km/h 程度です

## ⚠ 注意 ⚠

ボタン電池は信頼性の高いメーカー製を使用ください。  
ボタン電池は自然放電等で性能が低下しやすいため、ノーブランド品の場合、新品であっても正常に動作しないケースがあります。



## 左右ターンのコツ

### 緩やかなターン

この電動ジェットの水はゆるやかで、大きな弧を描きます。広いスペースでターンをすることを推奨します。

### ターンの強さ

風や波、潮流の影響でターンしにくい場合は、スピードを上げて、パワーを強くしてターンすることを推奨します。

## 後進時のコツ

この商品は、後進時のコントロールが難しい特性があります。しばらく後進を続けると、徐々に曲がる傾向があります。

後進する場合のコツは

1. 静止状態（ボードが回転していない状態）で後進をはじめ
2. 長い時間連続して後進しない。（後進時間を連続で数秒以内にします）

です。もし比較的長い距離を直線的に後進する必要がある場合は、

3. 静止状態で、パワー高めで後進を開始し、数秒でパワーをゼロにして、惰性で後進する  
をおすすめします。比較的長い距離を直線的に後進できます。また後進時は左右ターンボタンによるターン操作は前進時より働きが弱くなります。

### 後進時の直進性の改善

後進時の直進性を高めたい場合、付属の後付フィンを装着すれば、一定の改善を見込めます。



## 片付け編

片付けは、準備の逆の手順となります。ここでは、片付けのポイントのみ記載しています。

### ジェットケーブルの取り外し

バッテリーからジェットケーブルを外す時は、下記の手順を推奨します



1. コネクタ周りやコネクタのキャップを真水をかけて砂や汚れを洗い流す  
(高い水圧はかけないでください)
2. タオルなどで水気をしっかり拭き取る。キャップの内側も丁寧に水気を拭き取ってください
3. バッテリーからジェットケーブルを外します
4. バッテリーのコネクタキャップ、ジェットケーブルのコネクタキャップを閉める。



**注意**

- ①ジェットケーブルの取り外し時に、必ず電源がオフである事（マグネットキーを外した状態である事）を確認してください。電源がONの状態ケーブルを抜き差しすると故障の原因になります。
- ②コネクタの接続端子に水分や塩分が付着しないよう、細心の注意を払って作業してください。

### ボードの空気を抜く

空気を抜く時は、中央ピンを下位置にします  
中央ピンを押して回すと、ピンの位置を切り替えられます



**上位置**

空気を入れるときの位置



**下位置**

空気を抜くときの位置

### 真水での洗浄

使用後に真水でジェットを洗浄し砂や汚れ、海水使用の場合は塩分を落としてください



**1**

真水を貯めた容器にジェットをつけて、砂などを落とします

**2**

マグネットキーでバッテリーをONにして、リモコンの電源もONにします



**3**

前進状態で最低スピードで10秒程度運転  
後進状態で最低スピードで10秒程度運転  
前進状態で最低スピードで左右ボタンで交互にノズルを動かしながら10秒程度運転

**4**

3を1セットとして、1つのジェットに1セットずつ行います

# バッテリーの使用上の注意

## バッテリーの充電

- ・バッテリーの充電には付属の純正のチャージャーをご使用ください。
- ・他社製のチャージャーは使用しないでください。
- ・長時間使用しない場合、電源口からチャージャー、バッテリーを取り外して保管してください。
- ・高温の気温下での充電は避けて下さい。例えば気温30度以上の場所で充電を行うと、バッテリー寿命を縮めます。

## バッテリーの寿命

- ・リチウムイオンバッテリーは経年による性能低下が避けられない商品です。  
(バッテリーの性能維持の期間は、使用回数や使用環境、メンテナンス、保管状況の影響を受け大きく左右されます。)

## バッテリーの保管

バッテリーから充電器ケーブルやジェットケーブルを外して保管してください。

### 充電率

充電率50%以下での保管を推奨します。充電率が高い状態での長期保管は、バッテリー性能に悪影響を与えます。

なお、充電率10%~20%での保管がより好ましいとされています。

(充電率0%での長期保管は好ましくありません)

### 保管温度

温度15℃~25℃程度での保管を推奨します。

低温、高温での長期保管は、バッテリー性能に悪影響を与えます。

例えば、保管温度20℃と30℃では、30℃の方がバッテリーの寿命が何割か短くなる可能性があります。

## ボードの使用上の注意

### ボードの取り扱い

- ・このボードは水上に浮かべて使用する想定で設計されています。真夏の炎天下で、アスファルトや砂浜など、地面が熱された場所に置いておきますと、過膨張などの問題が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- ・電動エアポンプを使用する場合、推奨空気圧の80%-90% くらいを目安とし、それ以降の空気は手動のエアポンプのご使用を推奨します。

### 岸から離れた場所で使用する場合

- ・使用前に、空気を入れた状態で 24 時間程度放置し、極端に空気圧が減っていない事を確認した上で、ご使用ください。

### ボードの保管

- ・空気を抜いて折り畳んだ状態で、長期間に渡って保管しますと、折り目の部分等の接着不良の原因となります。適度のご利用いただくか、半年に1回程度は空気を入れる等のメンテナンスを行うと、製品の持ちが良くなります。
- ・画像の円の部分は、ボードを折りたたむ際に折り目ができやすく、使用していく中で EVA パッドが少し剥がれる事があります。折りたたむ際にご注意いただき、もし剥離が発生し気になる場合は、押さえて接着する、接着剤を塗布してくっつける等、ご検討ください。



## トラブルシューティング

### ボードの空気が漏れる



最も可能性が高いのはエアバルブの緩みとなります。バルブ付近の空気漏れチェックを行い、空気漏れがあれば修復キットのバルブ用レンチを使って、締め直してください。

### リモコンの電源がつかない / リモコンの電源がついても操作ができない



ボタン電池は信頼性の高いメーカー製を使用ください。ボタン電池は自然放電等で性能が劣化しやすいため、ノーブランド品の場合、新品であっても正常に動作しないケースがあります。

### ジェットの出力が低下した



ジェットは使用を重ねると摩耗によってインペラとインナーハウジングの隙間（クリアランス）が広がり、ジェットの出力が低下することがあります。アフターサービス窓口までご連絡ください。インペラやインナーハウジングの交換を検討します。

## アフターサービス窓口

電動トリプルジェットボード購入後に、問題等がございましたら、  
こちらのEメールまでお問い合わせください。

お名前、問題発生日、ご購入時期、問題の詳細な内容を記載ください。

(中古やネットオークション等の転売、譲渡等、弊社からの直接販売以外で商品を手入れされた場合、修理等のアフターサービスが受けられない場合がございます)

**Email : [cs@marine-drive.org](mailto:cs@marine-drive.org)**